

岩手警察署からのお知らせ

春の農作業安全月間

令和6年4月15日(月)～6月15日(土)までの間

ひと休み 急がば回れ 農作業

ゆとり忘れず 安全管理

農作業中の事故・交通事故を防ぐために

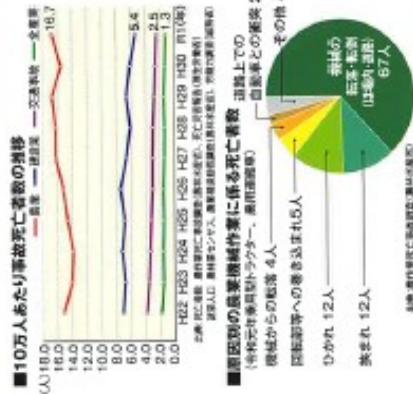
- ・ 作業を開始する前に、農耕車の点検・整備をしましょう
- ・ 体調がすぐれない時や天候が悪い時には、無理をせず作業の中止を検討しましょう
- ・ 日没前までに作業を終了しましょう
- ・ 農耕車もシートベルトを着用しましょう
- ・ ライトの早め点灯も忘れずに



岩手警察署 TEL 0195-62-0110
事件・事故など緊急の際は110番へ

**安全確認と予防対策で公道での
農機による死亡事故を防ぎましょう!**

安全フレーム、安全キャブ付きトラクターを使用し、
低速車マークの設置、シートベルト・ヘルメット着用を
徹底しましょう。



トラクター等の整備不足や操作ミスが転落・横転・追突の事故を引き起こします。

農林水産省の最新の調査データによると、近年300人前後の方々が農作業中の事故で亡くなっています。

グラフからもわかるように、農作業中の死亡事故は一般交通事故の約7倍、建設業の約3倍にも及びます。

農機事故を未然に防ぐために備えるべき機器（ランプ等）や操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

公道での農機による 交通事故の要因と対策

要因 公道での農機の交通事故は大きく分けて**単独事故**と他の車両からの**追突事故**の2種類があります。

单独事故

1. 用水路等への転落
運転操作ミスや道路環境が要因。これにより、
田畑や用水路等へ転落。
2. 傾斜地での横断等
傾斜地は通常の車に比べ重心位置が高いため
傾斜時にはバランスを崩して滑倒。傾斜地で
急制動に必要制動量を超えてしまう事故。

追索事故

夜間等における追突

次回は後続車から悪戯が見えられにくく、追突事故が起こる。悪戯のトンネル内でも追突事故の事例がある。

事故を
防止するには

事故防止の
対策

トハイホ 1 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

原因による死二事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた様々な運転を行いましょ、道路走行時は必ず右のブレーキを更制し求しよ、農作業前後に道路上进行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに急激固して転落・横転する事故につながる恐れがあります。

ポイント2 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付けられているトラックターボを利用*しましょう(安全フレームは割らずに使いましょう)。農機にシートベルト着用は深刻な交通事故の要因により死傷者による交通事故においても、シートベルト着用の有無により死傷状況が大きく異なります。トラック等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、ヘルメットの着用にも努めましょう。

ポイント3 ランプ類や低減車マーク等の取付けは

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。「低運転マーク」や「反射板」を設置しましょう。また、作業機を付けて公道を走行するためには、基本的にランプ類の増設等が必要です。